

## アジア諸国のアスベスト経験

現在、世界のアスベストはその七〇%がアジアの三か国で生産されている。<sup>\*</sup>二〇〇三年には、アジア諸国は世界のアスベスト消費の五〇%近くを占めており、最大のユーザーは中国(四九一、九五四トン)、インド(一九二、〇三三トン)、タイ(二三三、九八三トン)、ベトナム(三九、三八二トン)、インドネシア(三三二、二八四トン)であった。<sup>\*\*</sup>二〇〇七年、韓国の労働部は、国によるアスベスト禁止は二〇〇九年に発効すると発表した<sup>\*\*\*</sup>が、その詳細は不明である。アジアのアスベスト利害関係者にとって、ビジネスは好景気である。気前よく配分される企業利益は、政府の高官に政治的影響を与えるために使われている。

十分な運動資金をもつて、アスベストのロビイストたちは、産業界が画策したイベントやいわゆる「アスベスト専門家」による友好的な訪問時に、産業界側の「管理使用」の宣伝をメディアを通じて推進するキャンペーンを一齐に展開している。アスベストの「管理使用」が先進国において厳格な規制、行き届いた監視、訓練を受けた作業員をもつて実施されていないとしたら、アジアでそれをどうして達成することができるのか？ 香港のアジア・モニター・リソースセンター(AMRC)のサンジ・パンディタ氏は、「アジアの労働者はしばしば、アスベストの袋を開けるために手を使って切り裂く、あるいは袋を壊して開けるためにハンマーを使用している。周囲はアスベストの粉じんだらけである」と報告している。彼が二〇〇四年にベトナムのアスベスト波型スレート工場を訪問して観察し

\* [原注4] 現在の世界のアスベスト生産量223万トンのうち95%は、ロシア(875,000トン)、中国(355,000トン)、カザフスタン(346,000トン)、カナダ(200,000)、ブラジル(194,000)、ジンバブエ(152,000トン)である。

\*\* [原注5] これらの数値は、アメリカ連邦地質調査所(USGS)のウェブサイトからデータが入手可能な最新の年である2003年の消費量である。

<http://minerals.usgs.gov/minerals/pubs/commodity/asbestos/>

\*\*\* [原注6] Ban on Asbestos to Take Effect in 2009. 2007年1月1日現在、韓国は、重量で1%以下の含有製品を除いて、全てのアスベスト・セメント建築材料の製造、輸入、譲渡、供給、及び使用を禁止を示唆する情報がある。韓国労働部は、2008年1月1日から、小さな例外を除いて重量で

たことを次のように述べている。

「約一〇〇人の労働者が三交代勤務で、アスベスト粉じんがひどい古いたつたひとつの製造ラインで働いていた。労働者らは適切な防護装置をほとんど使用しておらず、一部の労働者は布で顔を覆っているだけだった。彼らは(カザフスタンから輸入された)アスベストの袋を開けるのにナイフを使い、グラインダー・マシンにかける前に木のハンマーでアスベストの塊を叩いて粉砕していた。彼らの衣服はクリソタイルの粉じんにまみれていた。その工場には適切な換気設備がなく、粉じんを吹き飛ばす扇風機があるだけだった。\*」

アジアの船舶解体現場では、アスベスト断熱材を再販売するために手で除去して太陽で乾燥させるのが普通のやり方であり、労働者が吸入する大気はアスベストだらけである。

産業側による「世界的なアスベストの粉飾」の成功は、タイ、インドネシア、インドのメディアが報じた記事から判断することができる。

- ・「最新の科学的研究は、クリソタイル・アスベストは安全であることを示している。」(チャンドラ・アリフィン, PTシアム・インド・コンクリートプロダクト社副社長)\*
- ・「われわれが必要とするものは、クリソタイル曝露を最小にすることに傾注する責任あるアプ

「最新の科学的研究は、クリソタイル・アスベストは安全であることを示している」

チャンドラ・アリフィン, PTシアム・インド・コンクリートプロダクト社副社長

「インドで使用されているアスベスト・セメントは、全て健康に害はない」

AKサラフ氏, アスベスト・セメント製品製造者協会会長(インド)とのインタビュー

0.1%以上のアスベストを含有する全ての製品を禁止することを意図している。

<http://english.chosun.com/w21data/html/news/200702/200702050011.html>

\* [原注7] Pandita S. Banning Asbestos in Asia. Int J Occup Environ Health 2006; 12: 248-253.

\*\* [原注8] 100年間以上、クリソタイル(白石綿)アスベストは、最も広く使用されているアスベスト繊維であった。今日、アモサイト(茶石綿)及びクロシドライト(青石綿)アスベストの商業的な使用はまれである。今日使用されているアスベストの90%以上はクリソタイルである。